

FOOLON

Les sculptures

Photographies de Thierry Renauld

フォロンの彫刻

2022.12.10sat - 2023.1.9mon

会場 白沙村荘 橋本関雪記念館 京都市左京区浄土寺石橋町37
TEL 075-751-0446

開館時間 10:00~17:00(最終受付16:00)

ただし、2022年12月30日(金)は10:00~16:00(最終受付15:00)。

12月31日(土)は10:00~15:00(最終受付14:00)。

2023年1月1日(日・祝)および1月2日(月)は11:00~15:00(最終受付14:00)。

1月3日(火)は11:00~16:00(最終受付15:00)。

入館料 一般 1300円 学生 500円(大学生以上~学生証をお持ちの方すべて)

※高校生以下 無料。 ※入館料には美術館と庭園見学の両方が含まれております。

※同伴者付きの場合のみ未就学児見学可能。

主催 ベルギー王国 フランス語共同体政府 国際交流振興庁(WBI)、フォロン財団



Wallonie - Bruxelles
International.be

FONDATION
FOOLON

FOLON

Les sculptures

Photographies de Thierry Renauld

フォロンの彫刻

ベルギー王国フランス語共同体政府 国際交流振興庁(WBI)とフォロン財団は、ベルギー王国ワロン地域政府 貿易・外国投資振興庁(AWEX)の協力のもと、アストリッド王女殿下率いるベルギー経済ミッションの来日を機に、ジャン=ミッシェル・フォロン(1934-2005)の彫刻を、彼の友人で写真家のティエリ・ルノーが撮影した作品展を開催いたします。本展は、ルノーが1995年から2020年にかけて撮影した写真約30点を集めたものです。また、この展覧会のために特別に貸し出された約20点のフォロンの彫刻は、私たちに彼が表現した彫刻の世界をいきいきと見せてくれます。

1955年生まれのルノーは、12歳の頃から写真に興味を持ち、被写体が写真から得る瞑想的な力を知るために模索と探求を重ねてきました。1995年のある日、ルノーはブリュッセルのプチサブロンで開催されたフォロン初の彫刻展を偶然に目にします。深く心を揺さぶられた彼は、数週間後、彫刻の写真と彼の友人ジャン=クロード・ジョルジュの繊細な文章との対話からなる作品集をフォロンに手渡します。フォロンは自らの作品に向けられたこの新たな眼差しに感激し、これ以降、主な彫刻展の撮影をルノーに提案します。

フォロンはこう記しています。「ときおり芸術作品には新たな意味付けをするような出来事が起きる。ティエリ・ルノーとの出会いは私にとって貴重な瞬間だった。彼は私の考えを読み取ってくれた(中略)太陽は私の彫刻を愛撫するとき、次の瞬間には異なった生命を与える。ティエリの視線は、彫刻を見るとき、太陽の軌道をたどる。彼の視線は光に耳を傾ける。ティエリ・ルノーの視線を通して、私の彫刻は思いがけない詩となった。」

ジャン=ミッシェル・フォロン(1934-2005)

1934年3月1日、ブリュッセルに生まれ、少年期をベルギーで過ごす。20歳のときベルギーの国立高等芸術学校ラ・カンブルでインダストリアルデザインを学び始め、1955年にパリ郊外へ移住し制作活動に入る。

フランスのメディアがなかなか彼に興味を示さない中、アメリカの「ホライゾン」「エスクエア」「ニュー Yorker」「フォーチュン」「タイム」などの有力誌が、彼の作品で表紙を飾る。これを皮切りに、世界中の美術館やギャラリーがフォロンを迎え入れることになる。ニューヨーク、シカゴ、ミラノ、ベニスのほか、日本では1970年、1985年、1995年の3回にわたり東京や京都などで展覧会が催された。「ミラノ・トリエンナーレ」(1968年)、「ベニス・ビエンナーレ」(1971年)、「サンパウロ・ビエンナーレ」(1973年)にも参加した。1960年代後半からオリベッティ社やニューヨーク近代美術館の広告キャンペーンを多数デザインしている。

カフカ、H・G・ウェルズ、ブレヴェール、ヴィアン、ボルヘス、ブラッドベリーなど、著名な作家の書籍の挿絵を手がける。また、壁画、ステンドグラス、タペストリー、演劇やオペラの舞台装置、彫刻などにも精力的に携わり、600枚以上のポスターデザインを手がけるなど、メッセージアートにも長けている。

2000年、ブリュッセル郊外ラユルブのソルベイ公園内にフォロン財団を設立。

2005年10月20日、71歳で死去。

フォロン財団

フォロン財団は、皆様を多彩なジャンルの展示物を通して感動的な体験へと誘います。500点以上の収蔵作品は互いに共鳴し合い、私たちの心にも反響してきます。ブリュッセルから車で20分の距離にあるこの美術館は、ベルギーで最も美しい公園のひとつ、227ヘクタールのソルベイ公園内にあります。ここはかつてはラユルブ城の農場だった場所です。



- JR京都駅から市バス5または17系統で銀閣寺道へ
- 阪急河原町駅から市バス32で銀閣寺前、5系統で銀閣寺道へ
- 京阪出町柳駅から市バス17系統で銀閣寺道へ

白沙村莊 橋本関雪記念館

京都市左京区浄土寺石橋町37 TEL 075-751-0446

【お問い合わせ】

ベルギー王国 フランス語共同体政府 国際交流振興庁(WBI)
TEL 03-3262-0951